

広報

けせんぬま・もとよし 広域

2021.6.1

No. 72

まるごと
“リア美”



リアス・アーク美術館

永久保存版

リアス・アーク美術館の情報を
あらためてお届けします！

- ②・③……リアス・アーク美術館概要紹介
- ④・⑤……施設案内／常設展と企画展
- ⑥……出前授業／貸ギャラリー
ワークショップ／リア美の SNS
- ⑦……フリーパスポート案内
- ⑧……見学モデル／感染防止策
ご利用案内／お問合せ先
アクセス／アクセスマップ

特集号 Vol.1



リアス・アーク美術館
RIAS ARK MUSEUM OF ART

発行／気仙沼・本吉地域広域行政事務組合
(気仙沼市赤岩五駄鱈 43-2 / TEL: 0226-22-9111)

ロゴマーク

入り組んだリアス式海岸線と海を表す青色、海に浮かぶ船を表しています。絵の具のパレットの形も取り入れています。顔にも見えますよね・・・“リアスちゃん”と呼ぶ人もいますよ！



リアス・アーク美術館
(気仙沼市赤岩牧沢 138-5)



正面玄関

このフロアが2階です！
3階玄関には前後に開く自動ドアがあります！

屋外彫刻（石製）
「神々のゲンゴツ」
高山登／1993年

リアス・アーク美術館 外観
屋上ピンクのシンボルタワーは遠くからでも目視できます。見晴らしの良い丘陵地にあります。

知りたい — どんなところ？

みなさんは、「美術館」にはどんなイメージがありますか？「絵や彫刻が飾ってあって、・・・なんだか敷居が高そうだし、気難しそう・・・。」というご意見をよく耳にしますが、実際のところはどうか。

リアス・アーク美術館では、美術・歴史民俗・震災を展示の軸として、地域の方々の学習機会にお応えできるような様々な工夫をしています。むしろ、誰もが気軽に訪れることのできる“生きた”学びの場を目指しています。

本号では、当館の施設概要やご利用方法などをあらためてお伝えするとともに、見どころや様々な事業の内容などを簡潔に紹介します。

館名の由来 — アークってどんな意味？

「リアス」は、「三陸リアス海岸地域」を「アーク」は、「方舟（はこぶね）」を意味します。ノアの方舟伝説になぞらえ、地域の文化を次世代へつなげてゆくという基本コンセプトから命名されました。「リアス・アーク美術館」：少し長いので「リア美（び）」の愛称で呼んでください。

ユニークな建築 — クセがすごい！

ピンク色の屋上タワーを筆頭に、東側の浮き構造、すり鉢状の中庭、アルミ合金パネルとコンクリートに覆われた外壁など、他にあまり類を見ない奇抜な外観が目を引きまます。建築そのものが巨大な作品なのです。





エントランスホール
漆喰とアルミパネル
が対峙しています。

建設概要

気仙沼市街を望む西部丘陵地に建設された当館は、早稲田大学理工学部建築学科、石山修武研究室が設計にあたった。鉄骨・アルミ合金パネル・鉄板・コンクリート・漆喰などを用い、造船技術を取り入れるなど、ユニークな建築。平成7年度日本建築学会賞を受賞。



建築主 宮城県

管理運営 気仙沼・本吉地域広域行政事務組合(教育委員会)

設計 建築:早稲田大学理工学部建築学科 石山修武研究室

構造:梅沢建築研究所/設備:郷設計研究所/家具:藤江和子アトリエ

規模 敷地面積:9,986.86㎡/建築面積:2,340.02㎡/延床面積:4,601.22㎡

(1F:1,598.75㎡/2F:1,997.09㎡/3F:967.88㎡/別棟:37.50㎡)

/階数:地上3階

構造 鉄骨造・鉄筋コンクリート造

登録博物館/収集資料-美術、民俗・歴史、震災/学芸員3名



東側外観 展望台が建物から突き出しています。

内部も高天井の展示室をはじめ、開放感あふれるエントランスホールや大型船内を思わせる低天井のコモンホール、建物から突き出たガラス張りの展望室など、見どころが満載。さらに、各所には様々な表情の“隠し”造形がたくさんあり、足を運ぶたびに発見があるでしょう。

リア美の取り組み — 地域とともに

リアス・アーク美術館の開館は、1994(平成6)年10月ですので、あと3年ほどで30周年を迎えます。これまでに美術や地域の歴史民俗分野の研究、企画展の開催を実施してきたほか、圏域内の学校を通じた絵画公募展や一般の風景画公募展、文化祭の開催、さらに、館内外での教育普及活動にも力を入れてきました。

また、東日本大震災の後に、津波災害に関する常設展を新設し、その取り組みが多方面で紹介されるなど、国内外から高い評価を得ています。

リア美のこれから — 情報発信!

リアス・アーク美術館では現在、SNSによる情報発信に力を入れていきます。昨期よりYouTubeのチャンネルや、インスタグラムを開設し、当館の情報を公開しています。今後も展覧会情報や常設展・建築の見どころ、美術館の裏側、各種制作・工作の実技紹介などを順次お届けしてゆきます。当館ホームページにリンク先を掲載していますのでチャンネル登録、フォローを是非ともよろしくお願いします。



見所いろいろ—施設案内

エントランスホール

【Entrance Hall】

建物外壁と同じアルミ合金パネルや漆喰などが混在しています。日本の現代技術と伝統技術が対峙する空間からは建築意匠の面白さが最も強く感じられます。



ミュージアムショップ

【Museum Shop】

作家制作のグッズやクラフト品(アクセサリ・陶器・バッグ・ポーチ・木製おもちゃ等)、当館発行の図録や書籍等を販売しています。



ワークショップ

【Work Shop】

美術をはじめ、様々な芸術文化に関する相談、美術作品制作など、無料で利用できる工房です。学芸員が指導にあたり、工作教室や各種ワークショップなども行っています。



ハイビジョンギャラリー

【Hi-Vision Gallery】

デジタル画像・動画を放映・鑑賞できる映像室です。約90席あり、映画館のような造りです。小規模なコンサートやイベント、各種講演会などにも利用されます。



コモンホール

【Common Hall】

主に貸ギャラリーとして利用される小規模展示スペースです。大型船内部を思わせるユニークな空間です。個展等の展示もできます。



レストラン

【Restaurant】

風景を楽しみながら、地元食材を活かした創作料理が手ごろな価格で味わえる人気のレストランです。キッチンスペース「夢の舎」(運営:NPO 法人リアスの丘グループ)



展望室

【Observation Room】

建物東側から地上約12mの空中に突き出たガラス張りの展望デッキ。気仙沼市街地が一望できます。



屋上塔

【Symbol Tower】

外観で最も特徴的なのが屋上にそびえ立つ不思議な物体。当館のシンボルとなっているこの塔は未来へと航海する子供たちの姿をイメージしています。

展示施設と展覧会—常設展と企画展



リアス・アーク美術館のシリーズ企画に「N.E. blood」があります。本展は東北・北海道在住若手作家を全国的に紹介し、作家活動の土壌づくり、ネットワーク形成を目的としています。これまでにおよそ80名の作家を紹介してきました。作家の皆さんは現在、各方面で大活躍されています。また、毎年度継続している企画として「方舟祭(はこぶねさい)」があります。本展は市民参



アークギャラリー<常設展示>

[Ark gallery]



常設① 収蔵美術作品展示

当館所縁の東北・北海道、当地域出身・在住作家の多様な作品(絵画・彫刻・工芸・現代美術など)約70点を展示・紹介しています。



常設② 歴史民俗資料展示

「方舟日記-海と山を生きるリアスな暮らし-」

歴史・民俗資料をもとに、手書きイラストや写真などを交え、「食」をキーワードにリアス地域の文化を紹介しています。縄文時代から現代までの漁撈を中心とするリアス地域の歴史や様々な習俗、生活文化を焦点としています。

方舟漂流記では、身近なイベント、年中行事などのルーツや豆知識を紹介するミニ展示を定期的に開催しています。



圏域ギャラリー

[Community gallery]

特別企画展・共催展など

当館の自主企画展、共催展などの展覧会を開催します。移動壁によって会場のレイアウトが変わります。天井が高く開放的な展示室です。



企画展示室 <常設展示>

[Exhibition room]



常設③ 災害展示

「東日本大震災の記録と津波の災害史」

2011.3.11の東日本大震災直後から2年間にわたり当館学芸員が気仙沼市・南三陸町の被害記録調査を行いました。平成25年より「震災被害を後世へ伝え、通じて地域文化の再生に寄与する」という使命のもと、活動で得た資料を常設展として展示公開しています。

本展では写真や被災物とともに、三陸地方における過去の津波災害の資料も展示しています。津波災害に関する知見を深め、津波と地域文化の関係、海とともに生きる地域の未来を考える場としています。

本展は震災伝承施設に認定され、3.11伝承ロードの一つとして登録されています。



加型文化祭で、参加者による絵画・写真・手工芸等の各種展示を無料で行います。リアス・ジュニア絵画コンクールは圏域内小学生を対象とした公募絵画展で、応募作品すべてを展示し秀作を表彰しています。さらに、隔年で開催している企画として、地域の食

文化や生活文化を紹介する「食と地域の暮らし展」や、変わりゆく東北・北海道の風景を描いた絵画公募展「LANDSCAPE(ランドスケープ) of N.E.」を継続的に実施しています。展覧会情報は本誌毎号に掲載しています。また、当館発行の年間スケジュール、当館ホームページや、インスタグラム等をご参照ください。



学芸員による「講座・講演」はいかが？

学校の先生・町内会等行事幹事さんへ

当館では、圏域内の小中学校・高校や公民館等施設での学習支援を目的に、当館学芸員を授業や講座等の講師として派遣する「出前授業」を教育普及活動の一環として実施しています。授業内容は美術系講義・実践、工作講座のほか、地域文化学習講座、津波災害史学習講座などを中心に準備しています。ぜひご利用ください。

▼講師経費 0円

講師派遣料・講演料・交通費等は無料です。ただし、材料費等の実費については、主催者または参加者のご負担となります。※工作の道具は無料で使用できます。

▼授業・講座内容・講師

ホームページ内の出前授業一覧をご参考ください。その他の内容にも対応しますので、ご相談ください。

▼申し込み方法

- ①希望する授業の「日時／会場／対象者・人数／授業内容」をお電話またはメールでご連絡ください。
 - ②担当学芸員との打合せ後に、「出前授業申込書」に記入しご提出ください。
- ※「出前授業申込書」は、ホームページからダウンロードできます。※固定日程・定期、複数回の授業を希望する場合は、お早めにお知らせください。



流木工作の様子
@気仙沼市内公民館

貸ギャラリー

あなたも発表してみては？



絵画等の作品展示場をお貸しします。展示以外にも小規模なパフォーマンス発表会や講演会を行うステージ会場もあります。展示のサポートも行っておりますので、是非お気軽にご利用ください。詳細は当館学芸員まで。

主な展示会場区分と詳細

ハイビジョンギャラリー	コモンホール
座席数 87席・マイク使用可・投影幕ありPC出力ケーブル接続で画像・動画上映が可能 料金 1日 / 五千円(準備を含む) 提出物 企画書・施設使用許可申請書	展示可能域幅 約24m(エントランス色) 料金 1日 / 千円(展示什器も使用可) 提出物 企画書・施設使用許可申請書



ハイビジョンギャラリー / 弦楽演奏会

ワークショップ

土・日・祝日を中心に開場している「アトリエ」です。制作に精通する学芸員のサポートを受けながら絵画・工作等の制作活動ができます。是非お気軽にご利用ください。



こちらでは現在、通常の「油絵講座」を実施しています。また夏休み期間には「親子クラフト講座」を開講予定ですので、ご希望の方は当館までお電話ください。

リア美のSNS

インスタグラム(画像等共有アプリ)やYouTube(動画配信サイト)にて、当館の様々な情報を公開しています。今後も展覧会情報をはじめ、見所や工作の実技などを紹介する動画などを順次アップロードしますので、ぜひチェックしてみてください。



YouTube 「震災展示解説」



YouTube 「展覧会案内」



SNS

※ソーシャル・ネットワーキング・サービス

耳よりお得情報!

「フリーパスポート」で 小・中・高生の施設学習を応援します!

▼夢のパスポート

フリーパスポートは、当館やひころの里コンソーシアム(南三陸町)、県内の協定施設の常設展などが無料になる券です。各施設の受付で本券を提示すればOK!発行対象者は圏域内の小・中学生・高校生です。※高校生は当館とひころの里コンソーシアムのみが対象です。

▼対象施設

県内7圏域との間で相互利用協定を結んでおり、対象施設は54施設あります。(令和3年4月1日現在)

その一例として【八木山動物公園】
【ジサキの杜】・【仙台市博物館】・【スリーエム仙台市科学館】・【仙台市天文台】・【石ノ森萬画館】・【おしかホエールランド】・【登米市教育資料館】・【旧有備館および庭園】・【白石城】・【みやぎ蔵王こけし館】・【感覚ミュージアム】などがあります。他にも左表の施設が対象です。

右文中以外の協定施設
仙台市縄文の森広場
仙台市歴史民俗資料館
仙台市富沢遺跡保存館(地底の森ミュージアム)
仙台市野草園
仙台市秋保大滝植物園
仙台文学館
仙台市戦災復興記念館 資料展示室
山元町歴史民俗資料館
観瀾亭・松島博物館
福浦島(県立自然公園松島)
原阿佐緒記念館
宮床宝蔵
セツ森陶芸体験館
大衛村ふるさと美術館
国指定名勝「齋藤氏庭園」
雄勝硯伝統産業会館
奥松島縄文村歴史資料館
ディスカバリーセンター
KIBOTCHA(キボツチャ)
白石城歴史探訪ミュージアム
片倉家中武家屋敷「旧小関家」
セツ宿町水と歴史の館
丸森町蔵の郷土館 齋理屋敷
吉野作造記念館
大崎生涯学習センター(パレットおおさき)
松山ふるさと歴史館
松山ミュージアム・華の蔵
鎌田記念ホール(鎌田三之助展示室)
日本こけし館
芹沢長介記念東北陶磁文化館
切込焼記念館
ホルダリングやくらい WALL
天平ロマン館
涌谷町立史料館
涌谷町くがね創庫
登米懐古館
水沢県庁記念館(旧水沢県庁庁舎)
警察資料館(旧登米警察庁舎)
伝統芸能伝承館 森舞台
高倉勝子美術館「桜小路」
教育資料館
石ノ森草太郎ふるさと記念館
白鳥省吾記念館
栗原市山王考古館
栗原市一迫埋蔵文化財センター
栗原市金成歴史民俗資料館
仙台藩花山村寒湯番所跡
剣豪千葉周作ゆかりの家 孤雲屋敷
細倉メインパーク
栗駒山麓ジオパークビジターセンター
くりでんミュージアム
(令和3年4月1日現在)

発行も手数料も“無料”
絶対お得なパスポートです



お財布に入れておけば
いざという時に便利!

申し込み内容

フリーパスポート申込書	
フリガナ	名前
住所	
電話番号	
生年月日	平成 年 月 日
学校名	
学年	年
No.〇〇〇	発行年月日 RO.O.O

▼どこでももらえるの?

気仙沼市、南三陸町の児童・生徒さんは、リアス・アーク美術館受付窓口で直接お申し込みください。申込書に必要事項を書くだけで、短時間で即日発行します。発行も手数料も無料です。

▼使えるのはいつ?

毎週土・日曜日・祝祭日と長期学校休業日(開館日は予めご確認ください)
※学校行事の代休や記念日などの特別休日は使えません。※当館とひころの里コンソーシアムは平日でも可。

※10名以上もしくは
学校等のクラス単位



こんな時、ついでに作っておこう!

- 各種展覧会で美術館を訪れた時。
- 3階のレストランを利用した時。
- 美術館の近隣に行った時。
- 対象施設へ行く予定がある時。

見学モデル ―学校の遠足や校外学習にも

▼ピンポイントコース（目安1時間）

お目当ての企画展や常設展、共催展を観覧します。事前に会期等をご確認ください。

▼例

展覧会鑑賞「○○展」・書初め展など
 社会科「昔の生活道具」・「漁具」・「養殖」など
 美術科「美術作品鑑賞」（学芸員解説も可）
 生活科「震災から学ぶ」・「減災について」など

▼ゆったりコース（目安2〜3時間）

特別展と常設展を観覧して、レストランで昼食や喫茶を楽しむ。建築の観賞もどうぞ。

▼例

展覧会鑑賞「○○展」▼美術・民俗常設展観覧▼昼食（レストラン）▼震災常設展観覧

▼無料コース

館内と館周辺の散策・展望台での記念撮影・建築、屋外作品観賞・中庭でお弁当ランチ等。

感染症予防対策

当館では、以下の対策を実施中です。①入館時のマスク着用・検温・手指消毒 ②3密回避の人数制限・換気 ③受付シールドの設置 ④スタッフの手袋着用 ⑤「インントレー」での金銭授受

※ご来館の際は必ずマスクをお持ちください。

ご利用案内

開館時間	9:30~17:00 (最終入館は 16:30 まで)															
休館日	毎週月・火曜日/祝日の翌日(土、日・祝日を除く)・年末年始・メンテナンス休館(12月末~1月中旬)															
入館料	無 料															
観覧料	■常設展 (団体は20名以上) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>個人</th> <th>団体料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>700円</td> <td>600円</td> </tr> <tr> <td>大学・短大 専門学生</td> <td>600円</td> <td>500円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>500円</td> <td>400円</td> </tr> <tr> <td>小・中学生</td> <td>350円</td> <td>250円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	個人	団体料金	一般	700円	600円	大学・短大 専門学生	600円	500円	高校生	500円	400円	小・中学生	350円	250円
	区分	個人	団体料金													
一般	700円	600円														
大学・短大 専門学生	600円	500円														
高校生	500円	400円														
小・中学生	350円	250円														
	■企画展 = 展覧会ごとに設定 ■共催展等 = 基本無料(一部有料)															

※療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその介護者1名は常設展無料、企画展半額。身体障害者手帳をお持ちの方、及び障害の程度が一級または二級の方の介護者1名は常設展無料、企画展半額。

お問合せ先

リアス・アーク美術館

気仙沼市赤岩牧沢138-5

(気仙沼市総合体育館アーケードそば)

電話 0226-24-1161

Eメール riasark@mifty.com

ホームページは「QRコード」から



アクセス

三陸自動車道「気仙沼中央IC」から約5km(仙台市から約120km/石巻市から約70km/陸前高田市から約25km)、東北自動車道「一関IC」から約50km ◆無料駐車場あり(普通37台・大型5台)



東北新幹線「一関」(大船渡線)「気仙沼」/東北新幹線「仙台」(気仙沼線)「気仙沼」 ※気仙沼駅からタクシー(約15分)をご利用ください。 ※タクシー割引券と「常設展観覧券引換券」のセットクーポン券が気仙沼駅前観光案内所、気仙沼観光コンベンション協会(電話:0226-2274560)で販売中。 ※現在、気仙沼線「前谷地」気仙沼間、大船渡線「盛」気仙沼間はBRT運行。

アクセスマップ

